

地盤品質判定士会中部支部
令和6年度 第2回 幹事会 議事録

- A. 日時 2024年7月19日(金) 15:00～16:50
- B. 場所 基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社 1F 会議室 および Zoom
- C. 出席者 千野[W]、桃井、利藤[欠]、向井[W]、谷口、居川、高森、北林[W]、小嶋、
斉藤[欠]、堀中[欠]、倉橋[W]、藤代[W]、小山[W]、後藤[W]、品川[W]、
金森[W]、山名、植田[W]、長沼
([W]は Zoom 参加、[欠]は欠席、敬称略、順不同)

D. 配布資料

- ・報告-1 地盤品質判定士会中部支部令和6年度第1回幹事会議事録
- ・報告-2 本部第2回幹事会報告(支部長)
- ・報告-3 あいち防災フェスタについて(支部長)
- ・報告-4 地盤に関する問い合わせ状況(調査G)
- ・審議-1 本部幹事会の中中部での開催について(幹事長)
- ・審議-2 中部支部講演会について(行事G)
- ・審議-3 名古屋大学減災研究センター連携活動について(行事G)
- ・審議-4 宅地の地盤相談に関する基本事項について(調査G)
- ・審議-5 地盤工学会中部支部との連携の覚書について(向井顧問)

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認(報告-1)

前回幹事会(5/31)の議事録を確認した。

2. 本部第2回幹事会報告(報告-2)

- ・賛助会員(法人会員)の募集について1社1応募の依頼がある。賛助会員となるメリットについて具体的な情報があればよいと思われる。
- ・盛土規制法における審査部会の設立について承認された。令和7年5月から審査支援団体となることを目指す。審査部会の運営には賛助会員も担当することを想定されている。
- ・判定士会HPに安全道具販売のバナーを掲載した。
- ・セキュアSAMBAの各種機能について活用希望があれば申し出て欲しい。
- ・中部支部より講演会、あいち防災フェスタ、判定士資格試験対応、宅地地盤相談マニュアルの作成等について報告した。

- ・中四国支部より、能登半島地震で地盤補強工法された住宅でも液状化被害が発生した事例があるとの報告があった（ほとんどが液状化の検討がされていなかった）。
- ・戸建住宅基礎・地盤部会より、住宅地盤に関するトラブル集の作成にあたり行政機関・設計者・不動産関連など各支部で付き合いのある方の紹介のお願いがあった。
- ・今年度のあいち防災フェスタ（11月10日、庄内緑地）について愛知県より出展依頼があり、例年通り中部支部として申し込む予定である。→出席幹事にて承認
- ・今年度の地盤工学研究発表会（7/23～25 旭川）では利藤顧問の発表があるが、今年度はWEB形式の参加がないため、現地聴講される方はご報告いただきたい。また、2年後の研究発表会は名古屋で開催されるため、地盤品質判定士会中部支部として宅地相談など検討していければと思う。

3. あいち防災フェスタについて（報告-3）

今年度のあいち防災フェスタ（11月10日、庄内緑地）について愛知県より出展依頼があり、例年通り中部支部として申し込む予定である。→出席幹事にて承認

4. 宅地の地盤相談報告（報告-4）

前回幹事会以降、2件の相談があった（今年度累計4件）。いずれも無償相談で植田幹事（購入土地の隣地既設擁壁の安全性）、北林幹事（購入土地の地盤品質に関する質疑）で対応した。北林幹事の件では相談者の満足度が非常に高く、切実な相談に対して適切で丁寧な対応が効果的であったものと思われる。→中部支部での対応事例として本部へ紹介しようと思う。

F. 審議事項

1. 本部幹事会の中部での開催について（審議-1）

- ・2年前より年1回は東京以外での開催を実施してきており、今年度は中部支部への依頼がある。開催予定日は9/11(水)午後、参加者は本部10名程度と中部支部の幹事。幹事会後には懇親会を行い、本部と中部との懇親を図る。
- ・本部幹事会の準備等は不要であり、開催場所の確保(web併用と思われる)・適宜意見交換会の開催・懇親会の場所設定の依頼があった。
- ・開催日は9/11(水)とし会場は基礎地盤コンサルタンツ様会議室をお借りする。
- ・第3回中部支部幹事会は9/12(木)予定を9/5(木)に変更する。
- ・本部幹事会前に意見交換会を予定したいので桃井幹事長で内容案を検討する。
- ・懇親会については向井顧問で候補を検討する。

2. 中部支部講演会について（審議-2）

- ・倉橋幹事より講演会の会告案と予算案について説明があった。来週には本部講習会システムに入力する予定である。
- ・CPDの取得を希望されている講師の方にはどのように手続きをすればよいか。→講演後に千野支部長から本部へ対応を依頼する。

- ・参加料は会員 5,000 円、非会員 7,000 円、学生 1,000 円とする。現状の講演会システムの設定では 2 種類なので方法は検討する。
 - ・予算案では参加者 50 名で黒字収支となる予定であるが、100 名程度を目標としたい。
 - ・講習会システムで公開後には後援団体からもお知らせのお願いをする。地盤工学会中部支部では HP 上への掲載はできないが、メールマガジンでのお知らせとなる。中部地質調査業協会からも会員企業へのお知らせに掲載していただく。
 - ・講習会システムでの公開スタートしたことを行事 G から中部支部幹事へ周知していただき、後援団体からのお知らせも始めていただく。
3. **名古屋大学減災研究センター連携活動について（審議-3）**
- ・連携活動については 8 月末に千野支部長と行事 G とで訪問して打診する。
4. **宅地の地盤相談 マニュアル等について（審議-4）**
- ・調査 G、中部支部幹事からの意見を受けて編集した宅地の地盤相談に関する基本事項案について説明があった。
 - ・事前調査事項として活用できる公開情報など有用なものがあれば追加していく。
 - ・本日付けの本書を初版として SAMBA に保存しておくので活用していただきたい。
 - ・調査 G の今年度の取り組み事項である地方公共団体との交流について、進め方などご意見いただきたい。→あいち防災フェスタ開催時に主催者である愛知県に支部活動を説明し、意見交換を申し出ることから始めても良いと思う。また、盛土規制法について愛知県での具体的な動きが見えてくれば都市整備部局などへ打診しても良いと思う。
5. **地盤工学会中部支部との連携の覚書について（審議-5）**
- ・地盤工学会中部支部とは講演会などその都度、後援を依頼しているが、手続きを簡略化し、双方がより連携して相互補完・支援できるように覚書を締結してはどうか。
 - ・地盤工学会中部支部と日本応用地質学会中部支部との連携に関する覚書が参考となる。
 - ・9 月の講演会後に支部長、副支部長、幹事長とで地盤工学会中部支部の窓口である企画委員会を訪問しお伺いする。
 - ・中部地質調査業協会とは後援の依頼ごとに理事に承認を得ているが、今後も現行の手続きを継続したいとの意向である（覚書は締結しない）。

G. 次回幹事会の予定

- ・2024 年 9 月 5 日(木)

以 上